

農地費の中の工事請負費について

問

①下三谷の土取場整備工事に一千七百万円計上しているが、詳しく説明を願いたい。
②ため池等整備事業費の中の県営生田池整備事業負担金及び生田池の整備に当たっての今後の状況について伺いたい。

答

①下三谷の土取場整備工事については、旧伊予市の当時、平成十年から十二年頃にかけて、この間に下三谷の土取場をため池改修工事等の刃金土用の土地として借り受けており、その後、刃金土にそぐわ



下三谷土取場

ないことが明らかになって、現在に至っている。

用地関係者と市で覚書をおわしてあり、その公文の中に平成二十年度末までに整地をして返還するという項目があり、今回その土取場を整備して、地主に返還するものである。

②本年度から五年間にわたり事業を実施するが、今年度は、測量と実施設計についての工事は県で行い、それに伴い、市が18%、地元が7%負担し、市と地元の負担金の合計が二百六十二万五千円である。

上灘漁協水産加工施設について

問

①地方債四千万円は、地方交付税で何割みてもらえるのか。
②総事業費と完成の時期は。

答

①過疎債を充当するので、地方交付税で七割程度みてもらえることになる。



上灘漁協水産加工施設

②当初計画は、七億六千万円か七億七千万円くらいであるが、実施設計等で事業費の変更があるので、今後多少の変動があると思う。
解体は、今年度末までに終了、新しい施設の完成は、二十一年度末の予定である。

学校給食センター基本設計業務について

問

①学校給食センター基本設計の業務と市民農園構想について
②建設場所が変更になっても基本設計は使えるのか。
③面積の五千五百平方メートルについて

答

①今回予算計上した学校給食センター基本設計の業務と市民農園とは、まったく関係がなく、給食センター候補地の土地に対して、どういう配置をするかということの基本設計業務である。

②基本設計業務には、各種の申請・提案・近隣の調査・配送計画・災害対応・調理員の配置・建物の基本設計等が含まれており、場所が変更になればどうしても変更しなければならぬ部分も出てくるが、これは市の職員で対応できる範囲であると思っている。

③先行事例等を見てみると、五千五百平方メートルあたりが県の事業認定を受ける上限という感じがしており、五千五百平方メートルを目途として購入したい。

上灘中学校校舎設計予算が決定

問

①校舎の耐力度調査の結果は。
②どの程度の規模の校舎で、どれぐらいの予算を予定しているのか。
③校舎の完成はいつ頃か。

答

①八月二十日に三千四百六十点の結果が出て、五千点以下であり、二分の一が国の補助対象になるということで、予算計上をした。

②上灘中学校と下灘中学校が統合しても、クラス数等は変化がない。現状が九百九十平方メートルであるので、一千平方メートル程度の建て替えになると考えている。

予算はあくまでも概算であるが、四億八千万円程度である。

③仮校舎を建てるかどうかの点も含め、設計等で協議していくが、建築工事の予定としては、平成二十一年十二月ぐらいに着工、供用開始が二十二年十月ぐらいの計画である。



築46年の上灘中学校校舎